

文 献

- (1) Edelman G.M. : "Neural Darwinism", Basic Books, New York (1987).
- (2) Langton C.G. (ed.) : "ARTIFICIAL LIFE", Addison-Wesley (1988). Langton C.G. (ed.) : "ARTIFICIAL LIFE-II", Addison-Wesley (1991).
- (3) ロジャー・スペリー (著), 須田, 足立 (訳) : "融合する心と脳", 誠信書房 (1985).
- (4) Langton C.G. : 私信 (1993).
- (5) チューリング A. : "計算機構と知能", ファイゲンバウム E.A., フェルドマン J. (著), 阿部, 横山 (訳) : "コンピュータと思考", 好学社 (1969) に収録.
- (6) ミンスキー, パパート (著), 齊藤 (訳) : "パーセプトロン", 東大出版会 (1971).
- (7) Fogel L.J., Owens A.J. and Walsh M.J. : "Artificial Intelligence through Simulated Evolution", John Wiley (1966).
- (8) Holland J.H. : "Adaptation in Natural and Artificial Systems", Univ. Michigan Press (1975).
- (9) Goldberg D.E. : "Genetic Algorithms in Search, Optimization and Machine Learning", Addison Wesley (1989).
- (10) 北野宏明 (編) : "遺伝的アルゴリズム", 産業図書 (1993).



ほしの つとむ
星野 力

昭35京大・工・電気卒. 昭40同大学院博士課程了. 同年京大原子エネルギー研究所を経て, 昭55筑波大・構造工学系教授. 以来, 並列計算機とその応用, 遺伝的アルゴリズム, 人工生命の研究に従事. 工博. 著書「PAX コンピュータ」, 「システムの世界」.

国際会議

2nd European Conference on Artificial Life (ECAL '93)

(第2回ヨーロッパ「人工生命」国際会議)

主催団体: ECAL 組織委員会

日 時: 1993年5月24~26日

場 所: ベルギー自由大学 (ULB, Université Libre de Brussels) ブリュッセル, ベルギー

参加者: 240名 (うち, 日本10名)

主要参加国: ベルギー, イギリス, フランス, ドイツ, スペイン, アメリカ合衆国, オランダ, スウェーデン, フィンランド, カナダ, ノルウェー, ポルトガル, イタリア, ユーゴ等約20か国

セッション数: 特別講演2件 (3パラレルセッション)

論文数: 口頭発表63件, ポスター発表49件

展 示: ロボット, コンピュータ・グラフィックス等のデモンストレーション約20件

Proceedings 発行所: 2分冊 (組織委員会発行)

連絡先: Prof. J.L. Denouburg : Unit of Behavioural Ecology Center for Non-Linear Phenomena and Complex Systems CP 231, Université Libre de Bruxelles 1050 Bruxelles, Belgique

日本における報告会: なし

主たるトピックス:

本会議における Artificial Life は, ポスト Artificial Intelligence ともいえるものであり, 自然, 人工システムは, シンプルなルールに支配され, これにより, システムの自律性, 自己適合性, 自己進化性につながる自己組織性を示していると考えられるものである. このため, バイオロジー, 化学, 物理学者やロボット研究者, コンピュータ学者が一同に会する間口が大きい会議となっている. 本会議では, 自然言語, 社会, 経済システムの組織性, 感情の発生, 動物の進化, 進化のメカニズム, 免疫システム, 自律的挙動のメカニズム, パターンやリズム発生, 群知能等, 「evolution」に関するものの原子分子レベルから社会システムまですべてが対象となっている. 今回の2日目には, ノーベル賞科学者のプリコージン教授による非平衡の考え方についてのイブニングセミナーもあり, 大変意義深いものである.

本会議は, 1991年に第1回がフランスで開催され, これの第2回目にあたる. Santa Feにおける Artificial Life 会議は1987年, 1990年, 1992年と開催されており, Santa FeのS. KaufmanやC. Langtonも参加している. 本会議の第3回目は, 1995年スペインで開催される予定である. また, 1994年から Artificial Lifeの雑誌も MIT Press から発行されることになっている.

(執筆者) 福田敏男: 名古屋大学工学部